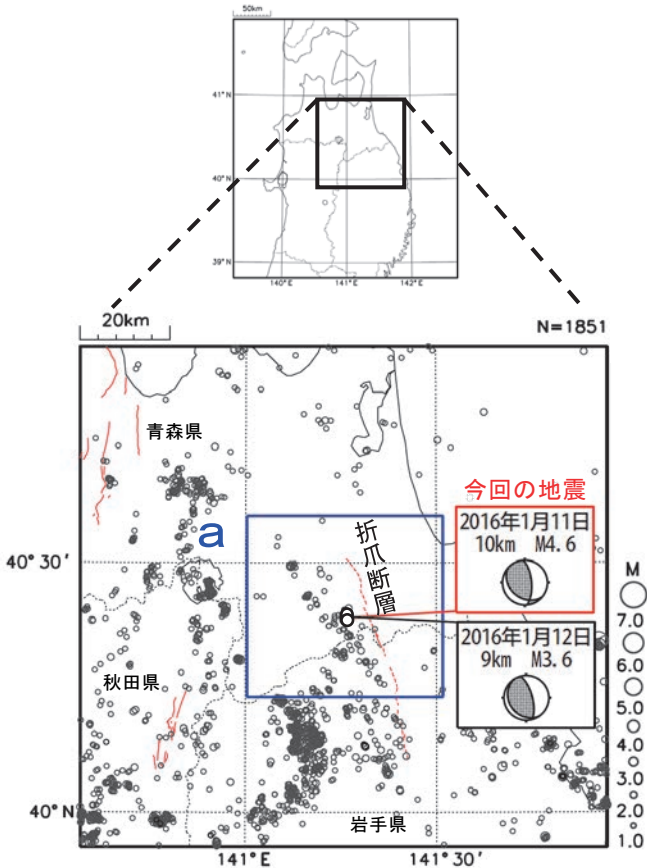


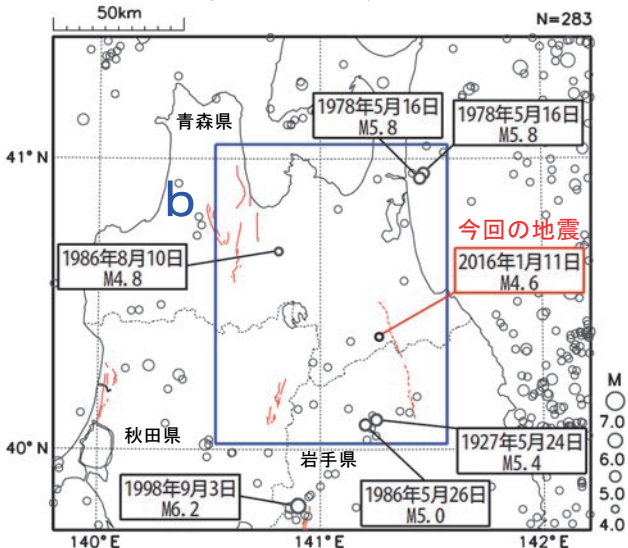
1 月 11 日 青森県三八上北地方の地震

震央分布図
 (2002 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～30km、 $M \geq 1.0$)
 2016 年 1 月の地震を濃く表示



図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
 深さ 0～50km、 $M \geq 4.0$)



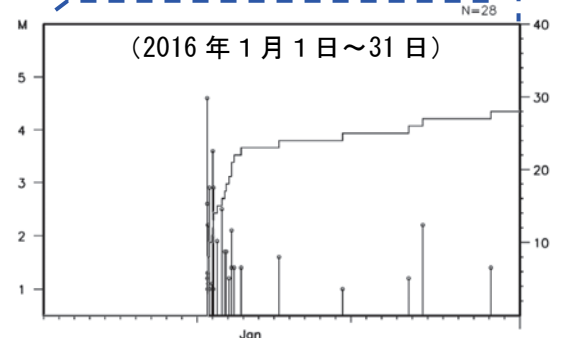
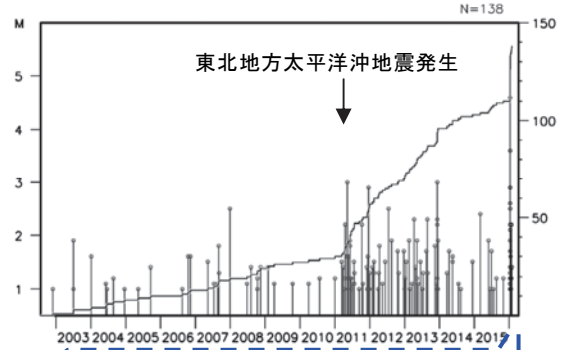
図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

2016 年 1 月 11 日 15 時 26 分に青森県三八上北地方の深さ 10km で $M4.6$ の地震（最大震度 5 弱）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は、東北東－西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。震度 1 以上を観測した余震は 7 回発生している。

2002 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 a）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」発生以前は、 $M2$ 前後の地震が数年に 1 回発生する程度で、地震活動は低調であった。同地震発生以降、今回の地震の近傍で地震活動がやや活発になっている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、 $M5.0$ 以上の地震が 4 回発生している。1978 年 5 月 16 日に、 $M5.8$ の地震が 2 回発生し、これらの地震によりモルタル壁の剥落、ブロック塀の破壊等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

